

わかば保育園

3年ぶりに親子参加で開催された乳児のうんどう会。コロナ感染が流行し、1か月延びた幼児のうんどう会も無事終わりました。たくさんの笑顔が見られ、子どもたちの成長を保護者と共にお祝いできました。

ある日の日常

こんにちは



きれいな はなだね



なにつくろうかな？



乳児うんどう会



子どもたち全員が主役になれる、とても素敵なうんどう会でした。来年、再来年は、我が子もあんなことが出来るようになるのかなあと大きい子どもたちの競技を見ながらワクワクしていました。来年のうんどう会が今から楽しみです。
“感想 乳児保護者より”



幼児うんどう会



いつもお迎えに行く時のクラスのお友だちの無邪気な姿と違い、戸板に立ち向かう眼差しがみんな真剣で心打たれました。そして失敗して次にチャレンジする時、「次も失敗したらどうしよう・・・」の様な不安げな顔をしている子は一人も居なくて自分なりにフォームを変えたり、タイミングを計ったり“いくぞー”という力強さに溢れていて感動しました。全員が最後までやり切ったのは本当に素敵だと思います。また、色々な場面でみんなの個性もキラキラしていて可愛らしく癒されました。“感想 幼児保護者より”



全員が最後までやり切ったのは本当に素敵だと思います。また、色々な場面でみんなの個性もキラキラしていて可愛らしく癒されました。“感想 幼児保護者より”

わくわくキャンプ (年長のみ)



流しぞうめん



キャンドルタワー

泡風呂 きもちいい



最後は花火で わかばの夜を楽しみました

新杉田のびのび保育園

10月15日、18回目のうんどう会が開催されました。前日は天気が悪く気温も上がりず外での開催を心配したのですが、当日は時間を追うにつれ気温が上昇、青空が見えて来て、まさにうんどう会日和。コロナ禍で2歳児からの参加でしたが子どもたちの成長が十分感じられたものになりました。当日大勢のお父さん方にご協力頂き、準備片付けもスムーズに行うことが出来ました。



1部

初めてのうんどう会で緊張していたらっこ組(2歳児)も競技が始まると自分たちが作ったおばけ目指して走っていきます。昨年はおうちの人から離れられなかったあしか組(3歳児)も今年はお友だちと一緒にグラウンドの中央に出て競技や踊りに参加し、うんどう会を楽しんでいました。自分で作ったポンポンを手にして踊った♪ポップコーンでみんなははけていましたね。



2部

競技ではろく木から飛び降りる瞬間、会場の目が一点に注がれ子どもたちの緊張が伝わる場面です。今かな？と子どもたちが飛び下りるタイミングを見極めジャンプをします。着地したその瞬間、高まった緊張感が一気にほどけ笑顔になります。ずっと受け継がれている♪ロックソーランや♪あしびな～も子どもたちが思い思いに楽しく踊る姿に沢山の拍手が送られました。



上手さや速さ、勝ちや負けだけにこだわらず、子どもたちが自分の好きなことや得意なことを見せよう、頑張る姿を見せよう、楽しく体を動かす、文字通り子どもたちが主人公になったうんどう会でした。

もう1つのうんどう会

うんどう会当日体調を崩したくじら組のお友だちがいました。「みんなであうんどうかいをしたい」と言う子どもたちのリクエストがあり、11月4日にくじら組全員が揃って「もう1つのうんどう会」をホールや園庭で行いました。今年は「2回もうんどう会ができた」と大喜びの子ども達。先月のうんどう会よりステップアップし縄跳びがたくさん跳べるようになったり、あや跳びが出来るようになったり、リレーでは本番と逆転し赤組が勝ち子ども達は満足した表情でした。



金曜日のうんどう会、本当にありがとうございました。緊張しながらも嬉しそうに、そして楽しそうに、くじらの仲間と頑張っている姿に感動しました。らいちの気持ちを尊重し、一人の為に多くの先生方や子どもたちが関わってくれたこと、感謝いたします。帰宅後も、みんなでビデオを見ました。らいちの満足した表情に母も幸せな気持ちになりました。

(くじら組 保護者)